

平成 28 年度  
新たな農林水産業・農山漁村活性化計画  
第 3 期戦略プランの推進に係るプロジェクトの取組概要

農林水産総務課

〈県共通プロジェクト〉

プロジェクト名 (県共通)	需要に応える原木増産
------------------	------------

【ねらい】

製材・合板・チップ工場の旺盛な需要に応えるため、主伐による更なる原木増産と、木質バイオマス安定供給の体制強化を図る。

【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 高性能林業機械の活用や作業道の整備等により原木生産量が増加
- ◇ 中間土場の整備により、集荷・供給体制を強化(東部 13 箇所、西部 14 箇所)
- ◆ 原木生産の低コスト化のための事業体連携の取組拡大
- ◆ 林業就業者の増員のため個別事業体の雇用条件等の更なる改善

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
原木生産量	総合戦略	41 万 m <sup>3</sup>	52 万 m <sup>3</sup>	53 万 m <sup>3</sup>	64 万 m <sup>3</sup>
島根県産原木の自給率	総合戦略	33%	39.5%	39.5%	44%
林業就業者数	総合戦略	856 人	913 人	933 人	1,000 人
新規林業就業者	総合戦略	81 人/年	140 人	196 人	350 人 (H27～31 累計)

プロジェクト名 (県共通)	木材製品の品質向上・出荷拡大
------------------	----------------

【ねらい】

製材・合板工場などで整備されてきた高品質・高付加価値加工施設を活かし、木材製品の品質向上と出荷拡大を図る。

【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 製材 3 工場、合板 2 工場で、高品質・高付加価値製品を製造するための施設を整備
- ◇ 木材製品県外出荷しまね事業体連合が東京、大阪、名古屋の展示・商談会に出展
- ◆ JAS加工・人工乾燥等の高品質・高付加価値加工に対応した人材の確保・育成
- ◆ 製材工場の状況(施設、人員)に応じた体制強化・連携強化

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
高品質・高付加価値製品の 出荷量	総合戦略	20,000 m <sup>3</sup>	23,200 m <sup>3</sup>	23,700 m <sup>3</sup>	28,000 m <sup>3</sup>
【再掲】 島根県産原木の自給率	総合戦略	33%	39.5%	39.5%	44%

プロジェクト名 (県共通)	低コスト再造林推進
------------------	-----------

**【ねらい】**

森林資源が利用期を迎え、原木増産が進むなか、再造林の必要な森林の増加が見込まれる。このため、低密度植栽や一貫作業システム等の導入により、低コスト再造林を推進する。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 伐採者と造林者の連携協定等の取り組みを展開
- ◇ 一貫作業や低密度植栽の低コスト再造林を普及し、県内実施率は32%へ向上
- ◇ 苗木生産者は6者増加(生産者33者)し、県内産苗木自給率は90%へ向上
- ◆ 伐採者と造林者の連携内容を調査・分析し、効率的な作業方法の検討
- ◆ コンテナ苗生産技術の向上にむけ、生産者個別指導の強化
- ◆ 森林経営サイクルを短期化する「早生樹」の樹種選定や育苗・施業体系の調査・検討

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
苗木生産量	総合戦略	81 万本	120 万本	98 万本	170 万本
島根県産苗木の自給率	県共通	63%	87%	90%	96%
再造林における低コスト化の割合	県共通	15%	25%	32%	50%
<b>【再掲】</b> 林業就業者数	総合戦略	856 人	913 人	933 人	1,000 人
<b>【再掲】</b> 新規林業就業者	総合戦略	81 人	140 人	196 人	350 人 (H27～31 累計)

## 〈地域プロジェクト〉

プロジェクト名 (松江圏域)	原木増産および再造林の推進
-------------------	---------------

### 【ねらい】

原木のさらなる増産と再造林を推進するための施業集約化を図る。

### 【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 森林作業道の開設、中間土場の整備等により、木材生産基盤を強化
- ◇ コンテナ苗の育苗方法の改善・改良の勉強会を開催し、生産技術を向上
- ◆ 森林組合と民間事業体の連携強化
- ◆ 一貫作業システムの事業実施後の課題検証と定着促進

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	16,500 m <sup>3</sup>	15,000 m <sup>3</sup>	12,400 m <sup>3</sup>	20,000 m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木生産量	総合戦略	0 本	3,600 本	13,000 本	36,000 本

プロジェクト名 (松江圏域)	県産材製品の品質向上および需要拡大
-------------------	-------------------

### 【ねらい】

積極的な地域産(県産・市産)材の利用促進に向けた関係者の連携、供給体制の強化を図る。

### 【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 公共建築物への市産材活用協議(松江市、安来市)を通じた関係者の体制づくり
- ◇ 伐採から建築までの木材流通を管理する木材コーディネーター2名を養成
- ◆ 公共建築物への市産材調達先の検討、木材調達山林の目安立て
- ◆ 製材所・工務店の意向調査を踏まえた対策の実施

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材製品出荷量(年次)	総合戦略	1,400 m <sup>3</sup>	1,400 m <sup>3</sup>	1,918 m <sup>3</sup>	1,700 m <sup>3</sup>

プロジェクト名 (松江圏域)	しいたけ生産向上
-------------------	----------

### 【ねらい】

しいたけ生産者の確保や生産条件の改善による生産振興を図る。

### 【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 生産者への現地指導及び情報収集を実施し、生産技術をレベルアップ
- ◇ 農林業祭等でしいたけ消費推進をPR
- ◆ 原木供給体制のシステムづくり
- ◆ 学校給食でのしいたけ利用の拡大

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
しいたけ生産量	地域独自	81t	84.6t	69.4t	90t

プロジェクト名 (出雲圏域)	原木の増産体制整備及び森林再生
-------------------	-----------------

**【ねらい】**

原木増産に向けた事業体の体制強化と関係者間の伐採情報等の共有、健全な森林への再生を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 森林経営計画区域図等の情報提供により、関係者間で連携促進
- ◇ コンテナ苗の低コスト化生産を開始、生産施設も増強
- ◆ 再造林促進のための支援制度の創設
- ◆ 伐採者と造林者の連携による一貫作業と低密度植栽の取組

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	1,800 m <sup>3</sup>	4,900 m <sup>3</sup>	6,531 m <sup>3</sup>	8,000 m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木生産量	総合戦略	9,000 本	14,600 本	14,100 本	38,000 本

プロジェクト名 (出雲圏域)	県産材製品の縁結び(安定供給)
-------------------	-----------------

**【ねらい】**

多様なニーズに対応できる県産材製品の安定供給体制の整備と製造技術の向上を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 製材1社がJAS認定取得、圏域内のJAS認定が2工場となり、生産体制が強化
- ◇ 木材市場建築士が准木材コーディネーターの認定を受け、地域材利用の調整に期待
- ◆ スtockヤード製品の製品開発や販促強化への具体策の検討
- ◆ スtockヤード製品生産施設の整備

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材製品出荷量	総合戦略	2,600 m <sup>3</sup>	2,900 m <sup>3</sup>	3,058 m <sup>3</sup>	3,100 m <sup>3</sup>
Stockヤード取扱量	地域独自	890 m <sup>3</sup>	1,050 m <sup>3</sup>	755 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>

プロジェクト名 (出雲圏域)	神々の国出雲しいたけ生産振興
-------------------	----------------

**【ねらい】**

菌床しいたけの周年生産による増産と、新たな担い手確保、技術向上等によるブランド力向上を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 「きのこの里づくり事業」による施設整備等により夏場の出荷量が約3割増
- ◇ 消費拡大に向けて、夏場の販促活動や幼稚園での食育活動を実施
- ◆ 夏場集荷量の安定確保のための更なる規模拡大と周年栽培比率増加
- ◆ 美味しまね認証の取得に向けた具体的な取組方針の決定

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
生しいたけ販売高	地域独自	324 百万円	350 百万円	357 百万円	410 百万円
生しいたけ生産量	地域独自	361t	400t	383t	450t

プロジェクト名 (雲南圏域)	雲南の木増産および再造林の推進
-------------------	-----------------

【ねらい】

伐採事業者と造林事業者の連携による原木増産と低コスト再造林の推進、優良苗木生産量の拡大を図る。

【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 伐採コスト分析により問題点を見える化し、作業システムの見直しを実施
- ◇ コンテナ苗木生産施設研修会の実施と生産施設の整備により、苗木生産量が増加
- ◆ 伐採事業者と造林事業者との情報共有の場設定と施業協定の締結
- ◆ 中間土場から地元製材業者へのA材供給の仕組みづくり

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	45,996 m <sup>3</sup>	60,000 m <sup>3</sup>	64,381 m <sup>3</sup>	75,000 m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木の生産量	総合戦略	6,000 本	54,700 本	67,900 本	103,000 本

プロジェクト名 (雲南圏域)	雲南の木活用
-------------------	--------

【ねらい】

乾燥材やJAS認定などの高品質な製品づくりへの対応強化、建築用原木の圏域内調達を図る。

【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 亀嵩中間土場の整備完了、A材利用に向けて現場研修を実施し、仕分け能力を充実
- ◇ 公共建築物への地域材利用促進に向けて課題を抽出
- ◆ 圏域内の公共木造建築推進の連絡調整の仕組みづくり
- ◆ 新商品開発と、県外出荷への販促活動

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材生産量	総合戦略	362 m <sup>3</sup>	550 m <sup>3</sup>	756 m <sup>3</sup>	850 m <sup>3</sup>
製材品の地元自給率	地域独自	45%	55%	56%	80%

プロジェクト名 (雲南圏域)	奥出雲キノコの里づくり
-------------------	-------------

**【ねらい】**

「奥出雲ブランド」が浸透しつつある雲南地域のキノコの更なる安定生産と、県内外販路拡大に向けた技術向上、人材確保、販売促進活動及び多様なきのこ生産を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 新品種クロアワビタケの本格生産開始と、既存品種の菌床害虫の発生防止による廃棄量削減
- ◇ 「きのこの里づくり事業」による施設整備と新規雇用(7名)による生産能力の向上
- ◆ 主力のシイタケやマイタケの増産と、新品種の生産バランスの検討
- ◆ 生産量向上と安定生産体制の確保のための人員確保と老朽生産施設の更新・整備

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
キノコの生産量	地域独自	1,186t	1,210t	1,127t	1,300t
キノコの販売額	地域独自	1,017,923 千円	1,043,500 千円	1,083,363 千円	1,120,000 千円

プロジェクト名 (県央圏域)	原木増産・再造林推進
-------------------	------------

**【ねらい】**

原木増産のための集材システムの改善と人材育成、再造林を推進するための伐採跡地の低コスト造林の普及、苗木の増産を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 木材需給のマッチング情報の集約・提供によりA材需給の取引協議が進展
- ◇ 伐採と再造林に関する連携協定7件を締結
- ◆ 木材需給のマッチング情報の交換の継続と、窓口の民間移行の検討
- ◆ 「伐採と再造林等のガイドライン」に基づく協定締結の拡大

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	23 千m <sup>3</sup>	26 千m <sup>3</sup>	40 千m <sup>3</sup>	35 千m <sup>3</sup>
認定事業者等による原木生産量	地域独自	37 千m <sup>3</sup>	38 千m <sup>3</sup>	42 千m <sup>3</sup>	44 千m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木の生産量	総合戦略	0 千本	0 千本	0.3 千本	83 千本

プロジェクト名 (県央圏域)	地域材製品の品質向上と出荷拡大
-------------------	-----------------

**【ねらい】**

消費者ニーズに応えた木材製品の高品質化・高付加価値化を進めるとともに、製品の増産、供給体制の強化による県内外への出荷拡大を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 高次加工製品の安定生産・品質向上に向けた機械導入や品質管理・製造試験を開始
- ◇ 公共施設の木材利用拡大のため大田市で木材利用連絡協議会が設立

- ◆ 製材所間の連携による共同での製品製造と出荷体制の構築
- ◆ 県内外の新たな販路開拓と、施設建設での地域材利用の拡大

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材出荷量(人工)	総合戦略	4,097 m <sup>3</sup>	4,100 m <sup>3</sup>	3,150 m <sup>3</sup>	4,900 m <sup>3</sup>
乾燥材出荷量(天然)	地域独自	2,058 m <sup>3</sup>	2,100 m <sup>3</sup>	1,792 m <sup>3</sup>	2,500 m <sup>3</sup>
高次加工製品出荷量	地域独自	2,150 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	2,334 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>

プロジェクト名 (浜田圏域)	浜田版林業ビジネスモデル確立
-------------------	----------------

【ねらい】

低コスト林業を実現するために、浜田地域に適した作業システムや、原木流通の仕組みの確立を図る。

【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 森林経営計画を 46 区域で作成完了、計画に基づく原木生産の目標を達成
- ◇ 大田市、邑智郡、石央の森林組合が木材生産のコスト分析に関する取組で合意
- ◆ 伐採者と造林者の連携による一貫作業への取り組み課題の整理
- ◆ 林業事業体における労働力の不足

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	10 千 m <sup>3</sup>	15 千 m <sup>3</sup>	15 千 m <sup>3</sup>	28 千 m <sup>3</sup>
認定事業体等による原木生産量	地域独自	40 千 m <sup>3</sup>	45 千 m <sup>3</sup>	52 千 m <sup>3</sup>	60 千 m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木の生産量	総合戦略	0 千本	0.4 千本	8 千本	66 千本

プロジェクト名 (浜田圏域)	木材製品の出荷拡大
-------------------	-----------

【ねらい】

乾燥材製品の出荷拡大、地元産木製品の情報発信による需要拡大を図る。

【主な成果◇と課題◆】

- ◇ 製材所等からの西部山村振興財団への委託乾燥が進み、乾燥材出荷量が増加
- ◇ 西部山村振興財団が地域の広葉樹資源の活用した新ブランドを立ち上げ
- ◆ 西部山村振興財団における木材乾燥機の運用ルールを検証と改善
- ◆ 製材 JAS 認定取得に取り組む製材所への技術指導と人材育成

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材出荷量	総合戦略	100 m <sup>3</sup>	486 m <sup>3</sup>	327 m <sup>3</sup>	586 m <sup>3</sup>
製材品出荷量(県産材)	地域独自	2,786 m <sup>3</sup>	2,800 m <sup>3</sup>	3,085 m <sup>3</sup>	3,000 m <sup>3</sup>

プロジェクト名 (益田圏域)	清流高津川を育む森の循環
-------------------	--------------

**【ねらい】**

原木増産と木質バイオマス安定供給体制の構築、伐採～植林の一貫作業システム導入等による低コスト造林の推進を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 民・官一体となり 62 区画の森林経営計画を作成、計画に基づく原木生産の目標達成
- ◇ 一貫作業システムによる再造林を 2 箇所実施、ガイドラインに基づく協定を 7 件締結
- ◆ 森林経営計画のカバー率の向上
- ◆ 農林大学校との連携による新規就業者の確保

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	11 千m <sup>3</sup>	21 千m <sup>3</sup>	30 千m <sup>3</sup>	51 千m <sup>3</sup>
認定事業体等による原木生産量	地域独自	83 千m <sup>3</sup>	93 千m <sup>3</sup>	88 千m <sup>3</sup>	124 千m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木の生産量	総合戦略	1 千本	11 千本	4.9 千本	44 千本

プロジェクト名 (益田圏域)	清流高津川木材製品出荷拡大
-------------------	---------------

**【ねらい】**

木製品増産のための原木の安定確保、高付加価値製品の開発、県内外の販路の更なる拡大を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 東京での建材フェアへの出展により、新たな商談成立等販路が拡大
- ◇ 公共建築物の発注情報を提供する木材利用調整会議を創設し、地域材利用を円滑化
- ◆ 素材生産事業体と製材事業体の情報交換(川上、川下共通)
- ◆ 高品質製品(準不燃材等)の新製品の開発支援

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材出荷量	総合戦略	6,441 m <sup>3</sup>	7,000 m <sup>3</sup>	6,701 m <sup>3</sup>	8,000 m <sup>3</sup>
県外への木材製品出荷量	地域独自	7,129 m <sup>3</sup>	7,700 m <sup>3</sup>	7,265 m <sup>3</sup>	8,900 m <sup>3</sup>

プロジェクト名 (隠岐圏域)	隠岐(しま)の木生産拡大・再造林推進
-------------------	--------------------

**【ねらい】**

原木生産事業地の計画的な確保と多様な現場に対応した生産基盤整備、コンテナ苗を活用した低コスト造林の普及を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 「隠岐の木出荷共同体」が丸太計測方法をルール化し、出荷作業を合理化
- ◇ 再造林では、伐採から植林までを連続して行う一貫作業を約 11ha 実施し、低コスト化を実践

- ◆ 事業体における森林経営計画や木材生産の目標設定のための経営ビジョンの作成
- ◆ 「隠岐の木出荷共同体」による植栽から下刈りまでの森林所有者負担軽減の仕組みづくり

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
森林経営計画に基づく原木生産量	総合戦略	14,969 m <sup>3</sup>	19,000 m <sup>3</sup>	18,973 m <sup>3</sup>	22,220 m <sup>3</sup>
低コスト再造林対策苗木生産量	総合戦略	0 本	25,000 本	30,448 本	50,000 本
再造林面積	地域独自	19ha	32ha	27ha	38ha

プロジェクト名 (隠岐圏域)	隠岐(しま)の木利用拡大
-------------------	--------------

**【ねらい】**

製材品の高品質化や島外出荷の拡大などを図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 県外展示会などに県外協力企業との連携を強化し、出荷量が増加(対前年比 1.5 倍)
- ◇ 隠岐の島町が木材住宅づくり支援制度を立ち上げ、島内需要を喚起
- ◆ 新商品(加工修正板、家具部材)、新製品(ナグリ加工)の商品化
- ◆ 製材品(乾燥材含む)出荷量拡大に向けた出荷先の掘り起こし

成果指標項目		現況(H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
乾燥材出荷量	総合戦略	1,026 m <sup>3</sup>	1,040 m <sup>3</sup>	709 m <sup>3</sup>	1,050 m <sup>3</sup>
製材品出荷量	地域独自	2,354 m <sup>3</sup>	2,500 m <sup>3</sup>	2,068 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>

プロジェクト名 (隠岐圏域)	隠岐しいたけ振興
-------------------	----------

**【ねらい】**

しいたけ原木安定供給のためのクヌギ林整備、乾しいたけ生産者の育成と技術の伝承、生しいたけの安定生産技術の開発と販路拡大を図る。

**【主な成果◇と課題◆】**

- ◇ 事業体に伐採跡地への適地適木を指導し、クヌギ林造成の目標達成
- ◇ 隠岐地域椎茸品評会において、高付加価値の「ジャンボしいたけ」をPRし、生産を喚起
- ◆ クヌギ植栽地の適切な保育管理と、伐採跡地の更新・管理の徹底
- ◆ 栽培技術(品質、生産量)の向上と、新規生産者の掘り起こし

成果指標項目		現況 (H26)	H28		H31 目標
			目標	実績	
しいたけ生産量	地域独自	41.4t	42.0t	46.1t	45.0t
しいたけ販売額	地域独自	31 百万円	32.0 百万円	37.3 百万円	34 百万円
クヌギ林面積	地域独自	89ha	102ha	109ha	120ha